

2010年度センター試験 リスニングテストの分析と対策



小森清久

2010年度本試験では、選択肢を含めた総ワード数が08年とほぼ同じである。設問の配列は09年を基に作成されている。問題のレベルは09年に比べやや易しくなっている。過去2年と比較すると以下ようになる。

*wpm: words per minute「毎分語数」

	平均点(50点)	本文総ワード数	設問ワード数	平均速度
08	29.45	1086words	563words	159wpm*
09	24.03	1111words	545words	160wpm
10	29.39	1088words	557words	155wpm

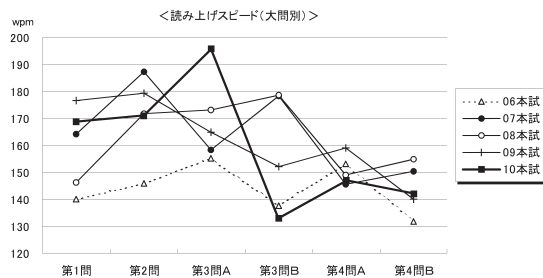


図 2006～2010年度の大問別読み上げ速度の推移

第3問Aの読み上げ平均速度が195wpmで過去最速であり、中でも問15は207wpmであったが、受験生の再現答案を分析した結果、推定正答率は86%と高い。一方、第4問A問20は127wpmで最も遅く、正答率は79%と推定。第4問B問23(142wpm)の推定正答率は12%で最低。正答率は読み上げ速度というよりむしろ内容に影響されているようである。

出題傾向 日常生活や統計を扱った対話形式とアドバイスやストーリー調のモノログ形式の出題。事前に質問や選択肢を読み内容を予測する。聞こえてくる音につられないように注意が必要。

以下、差のついたと思われる問題を分析し、大問別に網羅した対策を考えてみた。

■第1問 対話文イラスト選択問題(168wpm)

問3(180wpm/推定平均正答率47%)

What will the man do next?

- ① Accept cash. ② Get money.
③ Pay by credit card. ④ Use the pay phone.

(スクリプト) M: Can I use my credit card?

W: I'm sorry but we only accept cash.

M: OK, I'll go to an ATM. Is there one nearby?

W: Yes, you can find one next to the pay phones outside.

分析 「男性の次の行動」がテーマ。男女の対話を聴き取り、質問内容から男性が次に何をするかについての含意関係を考えながら取捨選択をする。最初の男女の対話から現金のみの取り扱いであることを理解し、男性の2回目の発話 I'll go to an ATM. から男性が次にとる行動の含意関係を考える。その際、女性の最後の発話にある... next to the pay phones...の音に引きずられたことによる④の誤答が全体平均30%と推定。(答②)

対策 事前に質問文とイラスト・数字・文字などに目を通しておき、聴き取りのポイントを予測する。聞こえた音につられないように注意する。

■第2問 対話文応答完成問題(170wpm)

問10(176wpm/推定平均正答率29%)

- ① I guess you don't mind the heat.
② I hope you have a good time.
③ Was that really your last trip?
④ You will probably spend a lot there!

(スクリプト)

M: I spent last summer traveling in Mexico.

W: Why did you decide to go to Mexico?

M: Well, it's cheap there, and I love sunshine!

分析 「この前のメキシコ旅行」がテーマ。平叙文の最後の発話に対する自然な応答を選ぶ。男女の対話内容から男性がメキシコ旅行をした理由を女性が尋ねていることを聴き取る。love sunshine に対して don't mind the heat が対応し、自然な応答となっている。男性のメキシコ旅行はこの前の夏の出来事なので、②、④は「未来」の内容になっているため矛盾するが、状況が理解できなかったことが原因による②の誤答が全体平均約40%と推定。③は聞こえてくる音 last や、traveling の言い換えとしての trip に引きずられないように注意する。(答①)

対策 文法・構文的なつながりより、内容的なつながりに重点を置くため、柔軟な応答力が求められる。特に、発話の最後に集中し、事前に質問文と選択肢に目を通しておき、聴き取りのポイントを予測しておくことが高得点につながる。会話特有の定型表現にも慣れておく必要がある。

■第3問 A 対話文質問完成問題 (195wpm)

問16 (193wpm/推定平均正答率59%)

According to the man, which statement is true?

- ① The new light bulb can be dangerous.
- ② The new light bulb is unbreakable.
- ③ The new light bulb isn't sold yet.
- ④ The new light bulb never needs to be replaced.

(スクリプト) M: There's a new type of light bulb for sale that lasts almost forever.

W: You mean you don't need to replace it so often?

M: That's right.

W: Wow, I should get some.

M: Yeah, but you still have to be careful not to break them because they contain poisonous material.

W: I'll keep that in mind.

分析 「発売された新型電球の特徴」がテーマ。

聴き取った情報を取捨選択する。質問に According to the man, 「男性によれば」とあるので、男性の発話に的を絞り、その内容を聴き取る。男性の最初の発話... lasts almost forever. の箇所の almost を聞き落とさないようにすることで、選択肢④が誤答とわかる。男性の最後の発話の but の後で新しい情報を述べていることに注意し、その内容を聴き取り理解する。なお、聞こえてくる音がそれぞれの選択肢の中に入っているので引きずられないようにする必要がある。(答①)

対策 事前に質問文と選択肢に目を通しておき、聴き取りのポイントを絞り込んでおく。

■第3問 B 会話文図表完成問題 (133wpm)

分析と対策 (推定平均正答率72%) 150語程度。「読者数の年齢別推移」がテーマの対話を聴き、数字と増減を聴き取る。数字を扱った内容なので、その分読み上げ速度は遅くなったと思われる。男性が女性に説明している場面状況を捉え、男性の発話に的を絞った聴き取りをすると、必要な情報を収集しやすい。また、対話の場面が表の空所通りには展開していないので注意する。

■第4問 A 短文内容把握問題 (147wpm)

分析と対策 (推定平均正答率60%) 事前に質問文と選択肢に目を通し、場面の状況を推測しておく。細部の聴き取りにとらわれ過ぎ、全体が理解できないことにならないように注意。

■第4問 B 長文内容把握問題 (142wpm)

分析と対策 (推定平均正答率39%) 200語程度のモノローグの英文を聴き、質問に対する答えを選択する問題。「ハイドンの『告別』交響曲」がテーマ。聴き取りの英文の語彙レベルは、やや高い。英文の内容を正確に聴き取らないと正解が得られない。事前に質問と選択肢に目を通し、内容を推測し、的を絞った聴き取りをする。普段の聴き取り練習では、読み上げられる英文の音に注意を集中し、正確に速く復唱する(シャドーイング)練習や聞こえてくるキーとなる発話を書き取ったりすると効果的な対策となる。

(こもり きよひさ・河合塾開発研究英語科講師)